

消費者・飲食店の意識の把握と対策の課題

農林水産省食品安全政策課

目次

1. 消費者の意識・課題に関する情報
(東京都による調査の概要)
2. 飲食店の意識・課題に関する情報
(東京都による調査の概要)

1. 消費者の意識・課題に関する情報 (東京都による調査の概要)

1-① カンピロバクター食中毒の特徴（東京都による事例調査）

- 東京都が2020～2022年に都内で発生したカンピロバクター食中毒29事例（患者116名）を調査した結果、27事例において原因施設として**一般飲食店が特定され、生食又は焼鳥などの加熱不十分な鶏肉料理の関与が確認**された。
- 患者については、男女差はなく、**年齢は20代が多く(68%)**、**職業は会社員と学生が多い**。
- 本報告では、
 - ・ **大学生を対象を絞り込み、保健所等を通じて鶏肉の生食等によるカンピロバクター食中毒のリスクを重点的に普及啓発**することで、本食中毒の発生減少に効果を発揮するかもしれない
 - ・ 焼鳥の中心部まで十分に加熱されないまま提供され、鶏肉に生残したカンピロバクター属菌による食中毒が起こると考えられるため、**地鶏や銘柄鶏を取り扱う鶏肉関係事業者や、焼鳥を提供する飲食店に対して重点的に加熱用鶏肉の適切な取扱いを指導**することで、本食中毒の発生予防に効果をもたらすかもしれないと考察している。

○原因施設が特定された27事例における喫食メニュー（複数回答）

喫食メニュー	事例数
焼鳥	20
鶏肉等の低温調理	4
鶏わさ	3
鶏レバ刺	2
鶏レバテキ	2
鶏ユッケ	2

(注) 上記のほか、鶏ササミの昆布締め、よだれ鶏、生唐揚げ、鶏ササミ梅和え、鶏ササミぼん酢、親子丼、鶏ハツテキが各1事例

○29事例の患者情報（患者数116名）

年齢層	人数(人)	割合(%)	職業	人数(人)	割合(%)
20歳未満	2	2	会社員	49	42
20歳代	79	68	学生	24	21
30歳代	16	14	その他職業	43	37
40歳代	10	9	合計	116	100
50歳以上	9	8			
合計	116	100			

(注) その他職業は、医療関係、美容関係、芸能関係、自営業など

出典：東京都内で発生したカンピロバクター食中毒の患者および原因食品として疑われた鶏肉の特徴
（日本食品微生物学会雑誌 41(2),82-87,2024）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsfm/41/2/41_82/_pdf/-char/ja

1-① カンピロバクター食中毒の特徴

(参考) 日本感染症腸炎学会報告資料より

- 都市立感染症指定医療機関における、2013～2015年のカンピロバクター感染症による入院事例の患者年齢と性別は、**20代が最も多く（31%）、性別は男性がやや多かった（53.5%）**。

○都市立感染症指定医療機関におけるカンピロバクター感染症による入院事例の患者年齢と性別

年齢/年													患者数（人）		
	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	不明	合計	女性	男性
2013	0	5	2	3	12	19	7	4	2	3	7	0	64	30	34
2014	0	4	9	8	10	32	7	5	1	2	14	1	93	44	49
2015	1	5	12	12	7	29	9	7	5	1	12	1	101	46	55
計	1	14	23	23	29	80	23	16	8	6	33	2	258	120	138
%	0.4	5.4	8.9	8.9	11.2	31.0	8.9	6.2	3.1	2.3	12.8	0.8	100	46.5	53.5

出典：日本感染症腸炎学会 2015年総合報告資料

1-② 消費者の食肉の生食に関する実態

○ 東京都は、令和4年2月に、20歳以上の東京都民1,500名を対象に食肉の生食に関するアンケート調査を実施。

調査目的 食肉の生食等による食中毒予防に関する啓発活動の参考とする
実施時期 令和4年2月4日～9日
実施方法 調査会社によるインターネットアンケート
回答人数 20歳以上の東京都民1,500名（男性：55.5%、女性：44.5%）

（調査対象内訳）

生又は半生な状態で食べる食肉料理の喫食経験がある者 1,000名
生又は半生な状態で食べる食肉料理の喫食経験のない者 500名

（用語の定義）

- ①生や生に近い状態で食べる食肉料理【生】
生や生に近い状態で食べることを目的とし、意図的に加熱処理を一切行っていないか、表面のみを加熱した食肉料理。
- ②加熱不十分（半生）な状態で食べる食肉料理【半生】
中心部まで十分加熱されていない状態で食べることを目的とした食肉料理。

（集計結果の注意点）

数表において、全体よりも10ポイント以上割合が高いセルを赤色、10ポイント以上割合が低いセルを青色に着色。

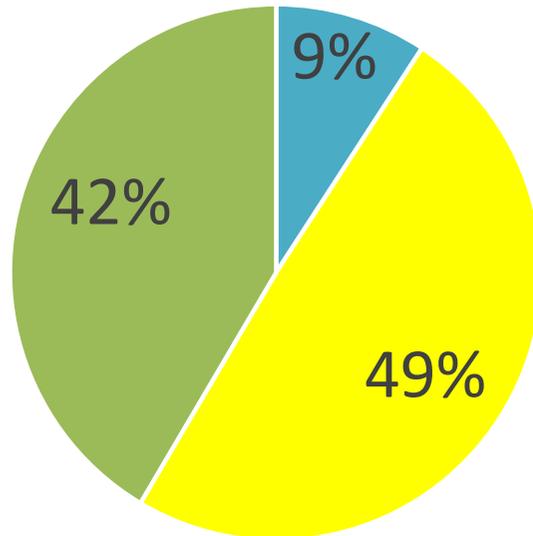
出典：食肉の生食等に関する実態調査報告書（東京都福祉保健局）（令和4(2022)年3月発行）
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/hyouka/houkoku/files/report-r4nama.pdf>

1-② 消費者の食肉の生食に関する実態

- 食肉の生食経験がある人が、生や生に近い状態で食べる食肉料理の喫食状況は、「よく食べる」が9.2%、「たまに食べる」が49.3%で、「よく食べる」または「たまに食べる」割合が**全体の約6割**を占める。
- 性別・年代別にみると、「よく食べる」は「**20代**」が**2割を超え**、特に「**男性20代**」が**約23%**と全体を大きく上回る。
- 「以前は食べていたがやめた」は、「**女性30代**」「**女性50代**」で**5割を超え**、全体を大きく上回る。

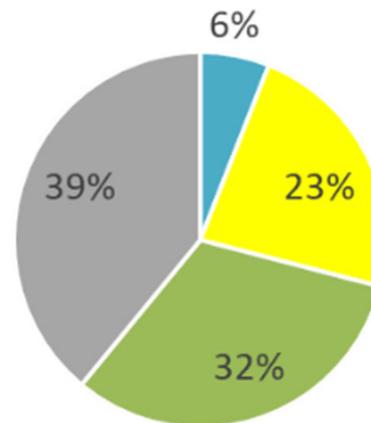
○ 質問 (生や生に近い状態での食肉の生食経験)

【令和3年度調査時】



- よく食べる
- たまに食べる
- 以前食べていたがやめた

(参考) 平成23年調査時※



※平成23年度
「食肉の生食等に関する実態調査」(東京都)
調査対象：都民1000人
(生食経験の有無によらず対象を抽出)

		n	よく食べる	たまに食べる	以前は食べていたがやめた
全体		921	9.2	49.3	41.5
性別	男性	547	10.1	51.6	38.4
	女性	374	8.0	46.0	46.0
年代別	20代	157	20.4	54.8	24.8
	30代	187	9.1	51.9	39.0
	40代	213	6.6	48.4	45.1
	50代	211	6.2	46.0	47.9
	60代	153	5.9	46.4	47.7
	性別年代別	男性20代	88	22.7	52.3
男性30代		96	11.5	62.5	26.0
男性40代		118	7.6	50.8	41.5
男性50代		138	6.5	47.8	45.7
男性60代		107	5.6	46.7	47.7
女性20代		69	17.4	58.0	24.6
女性30代		91	6.6	40.7	52.7
女性40代		95	5.3	45.3	49.5
女性50代		73	5.5	42.5	52.1
女性60代		46	6.5	45.7	47.8

出典：食肉の生食等に関する実態調査報告書(東京都福祉保健局)(令和4(2022)年3月発行)

<https://www.hokeniryō.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/hyouka/houkoku/files/report-r4nama.pdf>

1-② 消費者の食肉の生食に関する実態

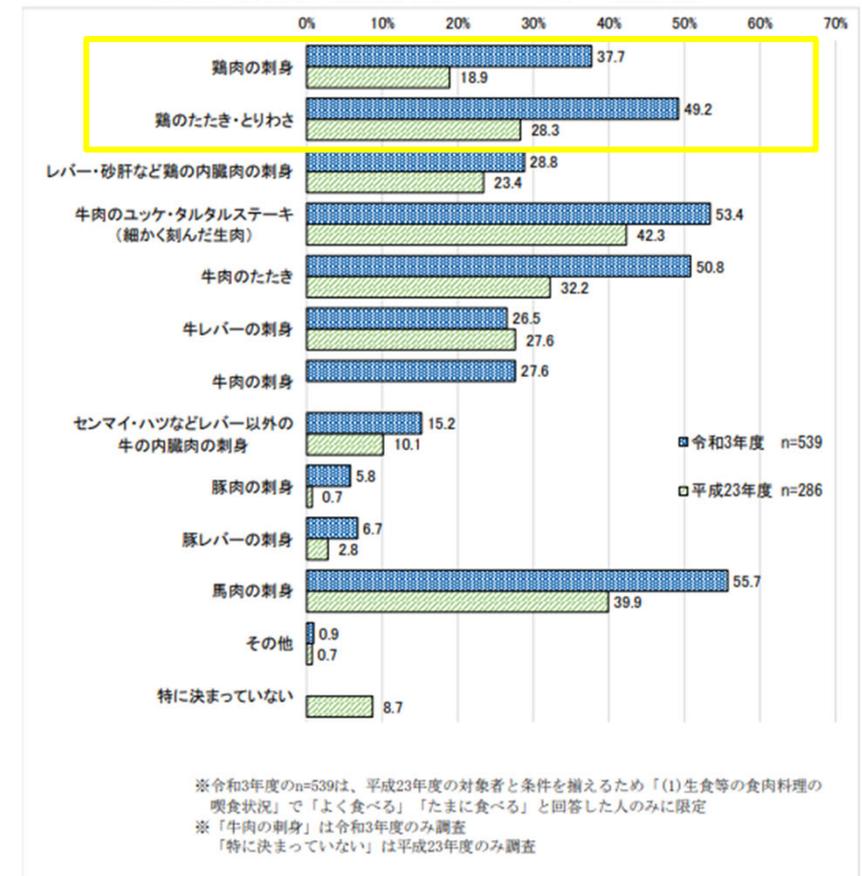
- 生や生に近い状態で喫食経験のあるメニューのうち、「鶏のたたき・とりわさ」が48.4%、「鶏肉の刺身」が35.6%。
- 令和3年度調査では、「牛レバ刺し」以外のメニューは、平成23年度調査時よりも喫食割合が増加。特に増加幅が大きいものは「鶏のたたき・とりわさ」（28.3% → 49.2%）、「鶏肉の刺身」（18.9% → 37.7%）。

○ 質問（生や生に近い状態で喫食経験があるメニュー）

図表10. 【性別・年代別】 喫食経験のあるメニュー（生）（複数回答）（%）

	n	鶏肉の刺身	鶏のたたき・とりわさ	鶏レバーの内臓・肉の砂肝など	（牛細かく刻んだ生肉） 牛肉のユツケ・タルタルステーキ	牛肉のたたき	牛レバーの刺身	牛肉の刺身	センマイ・ハツなどレバー以外の牛の内臓肉の刺身	豚肉の刺身	豚レバーの刺身	馬肉の刺身	その他
全体	921	35.6	48.4	28.0	56.8	48.4	27.4	22.8	12.8	3.9	5.6	56.9	0.7
性別													
男性	547	39.9	49.9	31.1	55.6	51.9	30.0	28.9	14.6	4.9	6.9	57.8	0.4
女性	374	29.4	46.3	23.5	58.6	43.3	23.5	13.9	10.2	2.4	3.7	55.6	1.1
年代別													
20代	157	33.1	36.9	20.4	47.1	28.0	14.6	17.8	10.8	6.4	7.6	38.2	-
30代	187	38.0	51.9	26.7	48.7	44.9	19.3	17.1	12.3	5.3	3.7	55.6	0.5
40代	213	35.2	49.8	31.5	61.5	51.6	33.3	21.6	14.1	3.3	4.7	54.9	0.9
50代	211	36.0	55.5	30.3	63.0	57.3	37.0	28.0	15.6	2.8	6.6	67.8	0.5
60代	153	35.3	44.4	29.4	61.4	56.9	28.8	29.4	9.8	2.0	5.9	65.4	1.3
性別年代別													
男性20代	88	35.2	35.2	21.6	38.6	33.0	13.6	19.3	13.6	6.8	8.0	33.0	-
男性30代	96	42.7	54.2	29.2	40.6	45.8	18.8	19.8	12.5	6.3	4.2	50.0	1.0
男性40代	118	39.8	49.2	31.4	62.7	55.9	38.1	32.2	17.8	5.9	6.8	57.6	-
男性50代	138	42.8	63.8	37.0	64.5	60.1	39.1	34.8	17.4	4.3	9.4	71.0	-
男性60代	107	37.4	41.1	32.7	63.6	57.9	32.7	33.6	10.3	1.9	5.6	68.2	0.9
女性20代	69	30.4	39.1	18.8	58.0	21.7	15.9	15.9	7.2	5.8	7.2	44.9	-
女性30代	91	33.0	49.5	24.2	57.1	44.0	19.8	14.3	12.1	4.4	3.3	61.5	-
女性40代	95	29.5	50.5	31.6	60.0	46.3	27.4	8.4	9.5	-	2.1	51.6	2.1
女性50代	73	23.3	39.7	17.8	60.3	52.1	32.9	15.1	12.3	-	1.4	61.6	1.4
女性60代	46	30.4	52.2	21.7	56.5	54.3	19.6	19.6	8.7	2.2	6.5	58.7	2.2

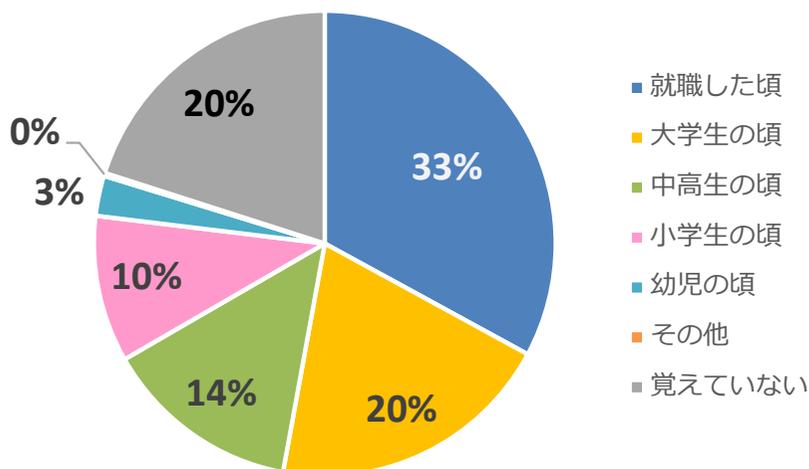
図表12. <経年比較> 喫食経験のあるメニュー（生）（複数回答）



1-② 消費者の食肉の生食に関する実態

○ 生や生に近い状態で食べる食肉料理の喫食開始時期は「就職した頃から」「大学生の頃から」が5割超。
 ○ 一方で、喫食状況別に見ると、「よく食べる」では「小学生の頃から」が23.5%と、全体を大きく上回る。

○ 質問 (生や生に近い状態での食肉料理の喫食開始時期)



図表20. 【喫食状況別】 喫食開始時期 (生) (%)

	n	就職した頃	大学生の頃	中高生の頃	小学生の頃	幼児の頃	その他	覚えていない
全体	921	32.9	20.0	13.8	10.2	2.8	0.2	20.1
よく食べる	85	22.4	12.9	16.5	23.5	3.5	-	21.2
たまに食べる	454	30.6	20.5	14.3	10.6	3.5	0.2	20.3
以前は食べていたがやめた	382	38.0	20.9	12.6	6.8	1.8	0.3	19.6

図表19. 【性別・年代別】 喫食開始時期 (生) (%)

		n	就職した頃	大学生の頃	中高生の頃	小学生の頃	幼児の頃	その他	覚えていない
全体		921	32.9	20.0	13.8	10.2	2.8	0.2	20.1
性別	男性	547	34.9	20.7	15.4	9.3	2.4	0.2	17.2
	女性	374	29.9	19.0	11.5	11.5	3.5	0.3	24.3
年代別	20代	157	15.9	28.0	22.9	11.5	4.5	-	17.2
	30代	187	21.4	27.3	17.1	13.9	0.5	0.5	19.3
	40代	213	38.5	16.4	10.8	9.4	5.6	-	19.2
	50代	211	40.8	13.3	12.3	9.5	1.4	-	22.7
	60代	153	45.8	17.0	6.5	6.5	2.0	0.7	21.6
	性年代別	男性20代	88	17.0	26.1	22.7	12.5	2.3	-
	男性30代	96	25.0	27.1	16.7	13.5	1.0	1.0	15.6
	男性40代	118	36.4	18.6	16.1	8.5	5.1	-	15.3
	男性50代	138	43.5	13.8	15.2	8.0	2.2	-	17.4
	男性60代	107	45.8	21.5	7.5	5.6	0.9	-	18.7
	女性20代	69	14.5	30.4	23.2	10.1	7.2	-	14.5
	女性30代	91	17.6	27.5	17.6	14.3	-	-	23.1
	女性40代	95	41.1	13.7	4.2	10.5	6.3	-	24.2
	女性50代	73	35.6	12.3	6.8	12.3	-	-	32.9
	女性60代	46	45.7	6.5	4.3	8.7	4.3	2.2	28.3

出典：食肉の生食等に関する実態調査報告書（東京都福祉保健局）（令和4(2022)年3月発行）

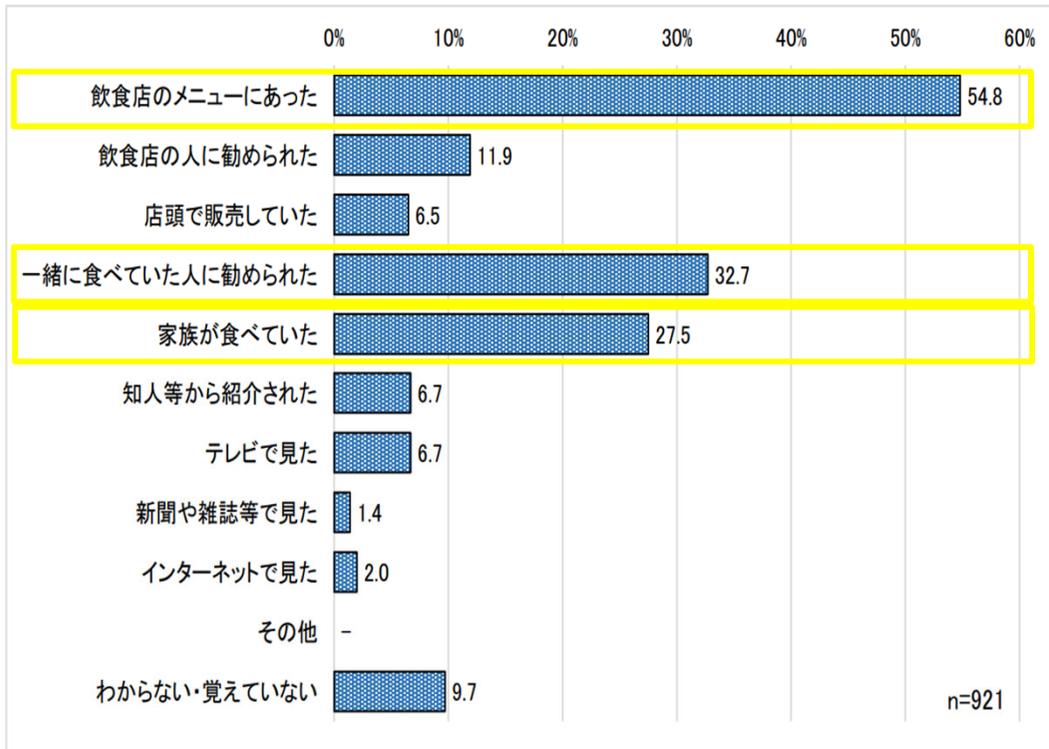
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/hyouka/houkoku/files/report-r4nama.pdf>

1-② 消費者の食肉の生食に関する実態

- 生や生に近い状態で食べる食肉料理を始めて食べたきっかけは「飲食店のメニューにあった」が5割超、「一緒に食べていた人に勧められた」「家族が食べていた」が3割前後。
- 喫食状況別に見ると、「よく食べる」では「家族が食べていた」が41%と、全体（28%）を大きく上回る。

○ 質問 (生や生に近い状態での食肉料理の喫食のきっかけ)

図表24. 喫食のきっかけ (生) (複数回答)



【喫食状況別】喫食のきっかけ (複数回答) (%)

	全体	よく食べる	たまに食べる	以前は食べていたがやめた
回答数	921	85	454	382
飲食店のメニューにあった	54.8	48.2	50.7	46.4
一緒に食べていた人に勧められた	32.7	32.9	25.7	28.9
家族が食べていた	27.5	41.2	24.8	19.8
飲食店の人に勧められた	11.9	21.2	16.3	9.4
知人等から紹介された	6.7	7.1	6.2	7.1
テレビで見た	6.7	7.1	8.5	8.4
店頭で販売していた	6.5	14.1	6.7	5.2
インターネットで見た	2.0	4.7	2.3	1.0
新聞や雑誌等で見た	1.4	3.5	2.1	1.0
わからない・覚えていない	9.7	5.9	12.8	14.6